

清水区入江地区

災害時に強い地区づくり

～被災者支援拠点の提案～

防災清水:真鍋明宏



出所：Google 地図



出所：筆者撮影



出所：筆者撮影



出所：ゼンリン地図

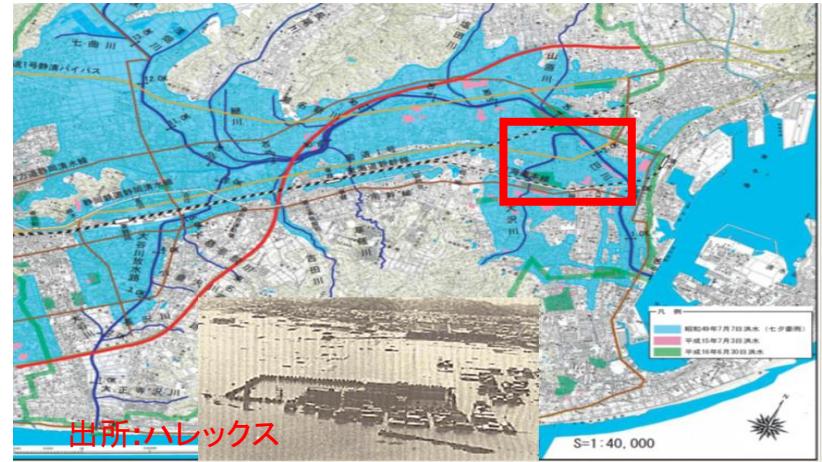
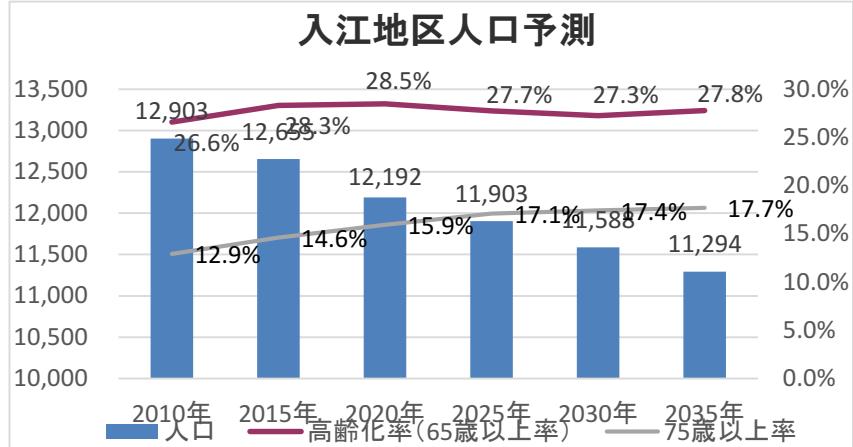
ちびまる子ちゃん、追分
羊羹で**全国的に有名な地区**。入江小学校区(清水
第八中学校区)が対象。
21自治会、12,655人。

1. 地域の困りごと・課題

- ・事象：風水害、地震による困りごと
- ・人口減少の中、後期高齢者（75歳以上）が増加。
(後期高齢者1995年7.2%が、
2035年17.7%)
→災害時、後期高齢者、障がい者
乳幼児がより困ることになる。

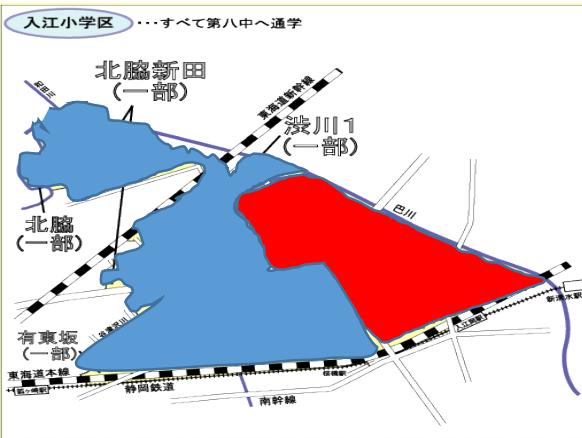
<水害>

- ・七夕豪雨時（総雨量608mm）の被害ならば、入江地区は桜橋町以外が浸水。
5,677/5,947世帯（95%）→大谷川放水路、大内、麻機遊水地等対策。
- ・ハザードマップ通り（総雨量740mm）ならば、
北脇新田、渋川、東・西大曲町**2,055/5,947世帯（35%）**が浸水。

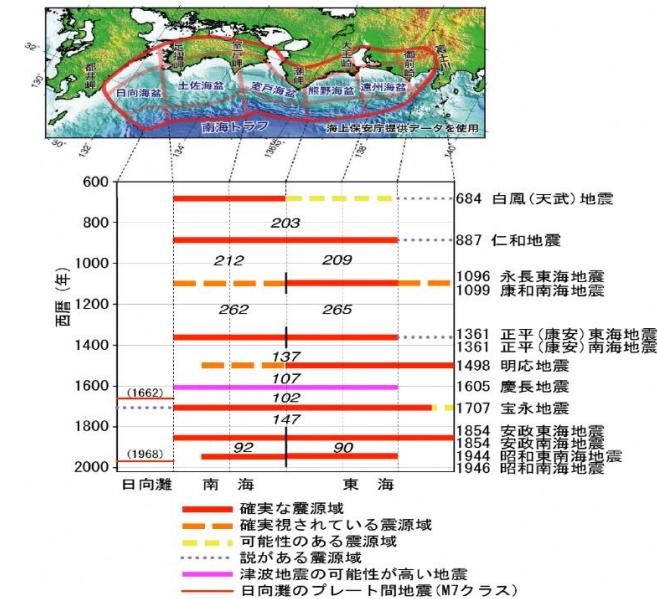


<地震>

- ・入江2丁目 慈雲寺も1707年宝永地震、1854年安政地震全壊、焼失



被害量	
人口	12655
世帯数	5947
旧基準木造家屋数	1987
全壊(旧基準木造家屋数30%)	596
倒壊(全壊数10%)	60
生き埋め(各世帯1階2人)	30
重傷(倒壊半数)	30
死亡(重傷者の内1/3)	10



出所:気象庁「南海トラフ地震 時空間分布」

東部		入江1	入江2	入江3	入江南	新富	鶴舞	西大曲	東大曲	元城	淡島	全体
	高齢化率	40	50	57	52	51	36	36	44	46	40	40
西部	耐震化率	49	47	50	41	38	49	46	50	52	39	55
	高齢化率	35	33	39	31	38	28	36	30	37	39	35
	耐震化率	65	60	56	65	57	53	62	70	59	85	58

- ・阪神大震災の被害実績から、入江地区の被害量を見積もると、全壊596世帯(10%)死者10名が発生。

2. 既存の対策

- ・緊急避難場所は入江生涯学習交流館。
指定避難所は入江小学校、清水第八中学校 2か所のみ
- ・避難所収容数は、全校舎活用1,585人
であり、人口 12,655人 **12.5%**しか
避難出来ない。体育館だけ考える
と556人 僅か**4.4%**しか避難出来ない。
更に他の地区（江尻、浜田等）からも
来る可能性がある。
→避難所に入れない人が多い。混乱する。
→在宅避難、避難所の支援拠点化の勧め

<参考>

- ・隣の岡地区：収容数5,731人、
人口11,587人に対して、収容可能率
49.5%。



出所:筆者撮影「入江小学校」



出所:筆者撮影「清水第八中学校」

3. 在宅避難/避難所の支援拠点化の提案

	防災内容	不足点
自助	<ul style="list-style-type: none">・住む場所選び・自宅耐震化・家具の固定・備蓄 (水・食糧・携帯トイレ+蓄電池)	<ul style="list-style-type: none">・考慮していない。知識がない。・先祖伝来の地の為、移動不可・意識が低い、資金的余裕がない・意識が低く未実施・意識が低く未実施
共助	<ul style="list-style-type: none">・安否確認・救出救援サポート・物資の配給サポート	<ul style="list-style-type: none">・安否確認ルールがない・救出救援出来るスキルがない・物資配給のルールがない
公助	<ul style="list-style-type: none">・耐震補強支援・救出救援・避難所への物資配給	<ul style="list-style-type: none">・予算制限（補助金制限）・マンパワーが不足・タイムリーな対応が出来ない

	理想の姿	私/私達の取り組み
自助	<ul style="list-style-type: none"> ・相対的な安全な場所に住む ・震度が激しくても倒壊しない ・家具が転倒しない ・備蓄:1週間以上準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・住む場所選びを伝える ・2階等垂直避難の勧め ・耐震住宅、補強を勧める ・家具の固定化呼びかけ ・備蓄ローリング ストックの勧め (+ 風呂溜置き、エコキュート、井戸、蓄電池)
共助	<ul style="list-style-type: none"> ・安否確認が出来る ・町内で救出救援が出来る ・物資配給が出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会毎に安否確認ルールを決め、訓練する ・自治会と消防団との連携。消防団入団、イメージ TENバス/市民トリアージ の勧め ・自治会の組単位で避難所に物資を取りに行くルール作り(事前登録制)
公助	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強の実現 ・市民の救出救援可能な体制 ・避難所へのタブリ-な物資配給 	<ul style="list-style-type: none"> ・公助のマンパワー、資金の限界を知って、期待しないことを伝える。

4. 具体的活動

- ・運営：自治会/自主防災会
 - ・安否確認センター
 - ・救命救出センター
 - ・物資供給センター（組で要支援者把握）
- ・効果：関連死、病気、怪我を防ぐ。

<12月1日地域防災訓練>

- ・まずは第一步。12月1日桜橋町自治会で**安否確認**実施。組で要支援者把握(個人情報関連で一部安否確認に不参加者有り)
- ・入江南町では消火栓から放水訓練も実施。
(清水消防第3分団との連携)

**災害後の
「安否確認」は、なぜ必要なのか**

富士見町全員
住民で、今
安全な場所に
おりません。

被害には
ありませんか？

自治会の防災訓練を機会に、
一緒に学んでみませんか？

日時：令和元年12月1日(日)の安否確認訓練の後
場所：桜橋町自治会館
内容：「安否確認」は、なぜ必要なのか
対象：桜橋町にお住いのみなさん(申込不要)

【好天時】 9:30から20分ずつ3回に分けて話します 文珠神社での訓練に参加してください 他にも消火器や防災倉庫の解説もあります	【雨天の場合】 10時から約30分間 公民館で行います
--	-----------------------------------

話し手：松山文紀(桜橋町6-33) ※自治会副会長(会計)

<今後の予定>

- ・支援拠点の避難所運営マニュアルを作成。訓練も計画。
- ・隣の地区・岡地区との連携も検討していく。

<報告会>

入江連合自治会12/10

県防災DIGセミナー12/14

防災清水 12/19

公開報告会12/21

ふじのくに防災士会静岡市支部会1/11